

未来へつなぐこの人

三原を愛する人たち INTERVIEW

伝統芸能を中心とした祭りでは県内最大。 やっさ祭りは素晴らしい素質を持ったお祭りです

三原の夏を彩る「やっさ」。間もなく開催です。 実行委員長 村上睦宏氏にお話を伺いました。

あらためて、やっさ祭りの紹介をお願いします。

やっさは、三原城の築城を祝って始まった踊りで、445年の歴史があります。こうした伝統芸能をこれだけ盛大にやっている祭りというのは、実は県内どこを見ても他にはありません。他の祭りでは、高知のよさこいを取り入れたり、パレードの企画が多いですが、やっさは本物の地元の伝統に根ざしています。そして、その出場者数は、フラワーフェスティバルに次いで、県内で2番目です。来場者数などの規模で言うともっと大きい祭りもありますが、いずれも大小のイベントをたくさん集めたもの。やっさは祭りは伝統芸能を軸にこれだけ盛り上がるのですから、すごいことです。

今年注目の企画は。

今年のキャンペーンテーマは「みんなに届け、三原やっさの笑顔と元気」ですが、あわせて「三原発のパワーをこの3日間に集める」というイメージで企画しています。 芸能人などのゲストをお招きするにあたって、三原出身の方にこだわりました。メインゲストは、DJ GEORGIA 率いる「CLIFF ☆ EDGE」の皆さん。日曜日の夜 9 時からエンディングライブがあり、今年は花火の後も楽しめますよ。他にも、映画監督のおかひできさんをお招きしています。 また、青年会議所主催の、東日本応援企画もあります。東北の子供たちを招いて、一緒にやっさを踊ります。3泊4日のホームステイと三原観光も楽しんでもらい、今年の夏休みは楽しい思い出を作ってもらいたいと思います。

今後のビジョンをお願いします。

やっさの未来を考えると、子供やっさは特に大切にしたいですね。子供やっさ委員会も立ち上げましたし、引き続き重点的にやっています。 また、今後は合併した旧三町のご参加もたくさん頂いて、三原を一つにしたい思いもあります。 私はやっさ祭りの素質、まちの財産としての価値は本当に素晴らしいものがあると思っています。 いろんな地域にそれぞれ伝統芸能がありますが、これほど盛り上がっていて、広く浸透している例は希少です。踊りとしても、いい踊りですよ。 祝い踊りに楽しくて華やかで、そんなに難しくありません。 三原の観光資源としてもっともっと活用して、徳島の阿波踊りのように、広い範囲から観光客をたくさん取り込めるイベントにして行きたいですね。



村上睦宏 Yoshihiro Murakami 1975年生まれ。有限会社 村上鉄工所 取締役。第37回三原やっさ祭り実行委員長となる。

あな つ い な つ みなさまおからだにちゅうい ねっちゅうしょうもしんばい ですじゅうぶんにすいぶんをとりましよう

メガネサロンくまの 三原市城町二丁目 3-6 0848-62-7773 10:00~19:00 木曜日

新しい命が産まれる「奇跡」を永遠に残そう 「お腹の中であなたを感じ、一緒に成長していった10ヶ月間。産声を聞いた瞬間、涙がこぼれ落ち、手を取り合っ喜んで。」

I WILL 土居写真場 三原市東町二丁目 3-6 0848-62-2984 9:00~18:00 水曜日、第1・第3火曜日

LIVE CLIFF EDGE & jyA-Me 日時：8月11日(土) 21:10~21:30 / 8月12日(日) 21:00~21:45 場所：三原やっさ祭り メインステージ (JR三原駅前広場に開設するステージ)

日時：8月11日(土) 21:10~21:30 / 8月12日(日) 21:00~21:45 場所：三原やっさ祭り メインステージ (JR三原駅前広場に開設するステージ)

夏の逸品と出会いました 真夏のオードルとは キンキンに冷えた器の中には、真っ赤に熟れたトマト。ゆず村のゆずボン酢、しぼりレモン、秘伝の出汁をかけ、大葉、ペパーミント、レモンをトッピング。

寝・生活館 お使いのお布団、もっと快適に使えます。 ふとん本来の保温力が発揮されないまま使うのはもったいない。

三原の医療・介護・福祉特定医療法人 仁康会小泉病院の 「就労継続支援B型事業所ワークハウスさくら草」の紹介です

ワークハウスさくら草は障がいのある方を対象に「働く・集う・憩える」から自信をつけていただき喜びを共感しあえる場所として活動を行っています。職員一同が利用者と共に作業を行い、就労相談等社会の一員として安心して生活が送れるように支援します。



さくら草のシンボルマークです

「優しい想い」

さくら草は桜に似た小さな花をつける野草です さくら草がいっぱい集まれば、 どの花にもない美しさがあります ひとりひとり色々な想いを持ちながらも このさくら草のように共に支え合う場でありたい みんな笑顔になれますように



「共に笑い、共に汗し、共にはばたく」を合い言葉に小泉病院前の農地700坪で一生懸命栽培しています。

施設利用に関するお問い合わせは 小泉病院 「ワークハウスさくら草」0848-60-0802 従来通り代表電話でのお取り次ぎも致しております

三原日和 mihara bi-yo-ri 地域のあるんなこと紹介しちゃう

若い方からシニアの方まで、読んで楽しく、暮らしに役立つ紙面を作りたい。企業広告だけでなく、頑張っている人、まちのイベント等にもスポットをあてていきたい。そして、三原をもっと明るく、住みやすく、連帯感のあるまちにしたい。そんな思いで発行している情報紙です。どうぞご支援のほど、よろしくお願い致します。

潮戸田からのメッセージ 蓮が彩る夏の耕三寺 (蓮華の見頃は8月中旬まで) 耕三寺では色とりどりの蓮華が咲き、見る人を楽しませてくれます。

新しい供養のカタチ 「手元供養」を御存知ですか? 「自宅に仏壇がない」「諸事情でお墓参りが難しい」といったご家庭も増えていますが、その一方「故人を偲ぶものを身近に置いておきたい」と考える方も少なくありません。

「下肢静脈瘤レーザー治療の治療後について」 2012年 保険適用のレーザー治療を開始いたしました。 レーザー治療後は、個人差はありますが、多くの方は約1時間程度の休息の後、ご帰宅頂けます。

大の庭日和 #05 広い駐車場の心地よいアクセント 古瀬レンガのモザイクは、奥様もお気に入り! 古瀬レンガのモザイクは、奥様もお気に入り!